

命を大切に作る社会を目指し

動物を大切に作る社会に

公明党横浜市会議員団

仁田 まさとし

ドッグランの設置を求めました。現時点では公園ドッグランは市内で2カ所ですが、みなさまの要望を踏まえながら、これを増やせるようにしていきます。

1年の横浜で動物との共生がより一層進むように取り組めます。

地域では多くのボランティアが活躍しています。

環境に優しい横浜へ

横浜市は昨年、省エネルギー、CO2削減と経済成長を目指した「横浜スマー トシティプロジェクト」を開始しました。私も低炭素都市づくりと雇用拡大を目指し、この事業を推進していきます。

横浜市は昨年、省エネルギー、CO2削減と経済成長を目指した「横浜スマートシティプロジェクト」を開始しました。私も低炭素都市づくりと雇用拡大を目指し、この事業を推進していきます。

鉄道や道路網の整備を推進するなど、あらゆる方面から「環境に優しい横浜」を目指す取り組みを進められるようにします。

環境産業で雇用促進

市民のライフスタイルをエコ型へ変革させる一つの方法として、CO2を排出しない電気自動車普及させることが挙げられます。さしく、環境に優しい横浜

動物との共生、環境への取り組みで今年「一人にやさしく、環境に優しい横浜」を目指す取り組みを進められるようにします。

を閉ざしていた子どもが友達と仲良くなる、会話が少なかった高齢者の方が犬とふれあつて明るくなるなど、動物の人間に対する貢献は大きなものがあります。このことを社会全体で再確認し、人と動物が共生できる命にやさしい社会を築いていく必要があります。

殺処分ゼロ目指す

私は「すべての命を守る」との視点で、殺処分ゼロを目指していきます。また、動物と共生できる環境を作るために、ドッグランの整備も進めていきます。平成16年の市会常任委員会の中で動物との共生の観点から、

昨年12月の市会定例会で「動物の愛護及び管理に関する条例」が一部改正されました。この改正は、犬にせす、モノ扱ひしているや猫の飼い主が適切な方法でしつけを行うよう努めなければならぬなど、動物の飼ひ主の責務を定めたものです。

また、無責任な飼ひ主による虐待や飼育放棄などもあり、年間約28万匹もの犬・猫が殺処分されている事実もあります。

ペット後進国

今ではペットは、かけが



仁田まさとし プロフィール

- 環境創造・資源循環委員会委員
- 国際文化都市特別委員会委員
- 公明党横浜市会議員団団長
- ◇施政方針は「大胆に挑戦、誠実に実現」
- ホームページ <http://www.nitta-m.jp/>

動物とふれあうことで心